令 和 ４ 年 度 モ ニ タ リ ン グ シ ー ト

【施設名等】

施　設　名	大洲市老人デイサービスセンター東大洲	位　置	大洲市東大洲２７０番地１
指定管理者名	社会福祉法人　大洲市社会福祉協議会	所管課	高齢福祉課 TEL0893-24-1714

【施設の概要】

設　置　年　月　日	平成１１年４月１日	構　造	鉄筋コンクリート造 地上４階建て
設　置　目　的	利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。		
施　設　機　能	高齢者及び障害者福祉活動の拠点としての機能		
利　用　料　金　等	介護報酬の１割、２割又は３割及び実費		
開　館　・　閉　館	開館 午前８時３０分　閉館 午後５時１５分		
指　定　管　理 業　務　内　容	介護保険サービス事業・総合事業（通所型サービス）		
施　設　管　理　体　制	常勤：管理者１名、生活相談員１名、介護員５名、看護師３名、調理員２名　非常勤：看護師３名、介護員１名、調理員１名、運転手１名、清掃員１名		

【施設利用者数】

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
Ｒ０４年度	625	650	683	647	666	608	637
Ｒ０３年度	615	614	645	663	620	611	630
比　較	10	36	38	△16	46	△3	7

	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
Ｒ０４年度	652	603	619	619	658	7,667
Ｒ０３年度	656	588	577	557	642	7,418
比　較	△4	15	42	62	16	249

【指定管理者としての収入・支出（決算）】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
経常経費補助金収入（愛媛県）	2,212,820	人件費支出	50,694,280
経常経費補助金収入（大洲市）	340,000	事業費支出	6,716,439
介護保険収入	62,081,930	事務費支出	1,752,209
その他の収入	71,750	負担金支出	38,000
積立資産取崩収入	1,001,923	固定資産支出	1,220,450
		積立資産支出	363,983
		事業区分間繰入金支出	1,200,000
合　計	65,708,423	合　計	61,985,361

※　指定管理料なし。

【サービス向上に向けた取り組み】

Ｒ０４年度	前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染症予防に努める一方、外出レクを控えたことで屋内レクの見直しができ、利用者が楽しみを持ち笑顔で参加できる様な雰囲気作りに努めることが出来た。また令和３年度から開始した個別機能訓練の利用者数も増え、自立支援、生活の質向上を目的に個人レベルに合わせたプログラムが取り組めている。また介護保険システムの導入もあり事務効率も上がった。
Ｒ０３年度	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止に努め、ご利用者やそのご家族への文書配布も随時行い、協力を仰いだ。その中でレクリエーションや行事等も質を落とさずに楽しみを持って参加していただける様、感染予防対策を行いながら実施できた。又、本年度より個別機能訓練加算を取得する事となり、希望されるご利用者の方を対象にその方に適したプログラムを作成し実施してきた。様々な道具の準備や職員の勉強会を数回行い、スキルアップや質の高いサービスを提供できるよう努めた。ご利用者やご家族からも足の調子や動きが良くなった等の意見が多数あり喜ばれている。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
デイの食事で使用する自助具（スプーン）を自宅でも使用したい。	福祉用具業者へ連絡し、スムーズに対応して頂いた。

【指定管理者の自己検証】

１．協定書や仕様書に基づき、当初の事業計画どおりに実施する事ができた。
２．大洲市と連携をとりながら、指定管理者として、利用者からの意見・要望は内容等を文書化し、事業所内で共有したうえで、回答・対応しながら施設の管理運営を行った。
３．職員間で共有した「運営マニュアル」の点検を行った。
４．安全管理については、マニュアルを活用した社内研修を実施し、また事故発生に対する検証や対策の確認を行った。
５．　利用者本位を基本に、通所介護、地域活動支援センター、訪問入浴の３事業所が連携し、事業を行った。
６．指定管理者として、利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づいて適切なサービスが提供できるような健全な施設運営を心掛けた。
７．PR 活動等を含めた新規利用者の確保に向けた対策を講じた。
８．法人事務所並びに事業所間と連携・協力しながら、管理運営の効率化に努めた。

【施設所管課の検証・評価】

事業実施については、指定管理に関する基本協定書及び仕様書の内容を満たしている。
個別援助を基本とした生活機能向上や心身の機能活性化に繋がる支援や、レクリエーションの内容・方法の見直しを行い、密を避けたゲームの実施や季節に合った創作活動・作品の展示の機会を増やす等、適切なサービスの提供に努めていた。
また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染防止にも努め、屋内レクの工夫を凝らし、利用者の満足度向上を図っている。
令和４年度年間利用者数が７，６６７人と、前年度より２４９人増加している。今後も更なるサービスの向上を図っていただきたい。